

無人駅から始める地域づくり

慶應義塾大学 唐津元気プロジェクト

早速ですが、皆さんの**最寄駅**を思い返してみてください

駅の改札があって、、

階段をのぼると、ホームがあって、、

右手には時刻表がかかっている、、



今日の発表を通して伝えたいこと

駅は電車の乗り降りをするだけじゃない！

駅には、多様な可能性があるんだ！



今日のもくじ

私たちについて

無人駅の可能性
と地域づくりの
関係性

私たちが目指す
Will

最後に

相知駅の事例をもとに現状分析

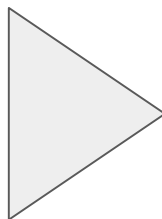
活動からわかった目指すべきWill

はじめまして。唐津元気プロジェクトです。

私たちは慶應義塾大学 飯盛義徳研究会の
唐津元気プロジェクトです。

佐賀プロジェクト

唐津市七ツ釜を拠点に、地域の魅力を再発見し、その魅力を内外に発信する活動を行ってきた。



唐津元気プロジェクト

地域を特定せず、高校生の自主性と地域への愛着を育むプロセスを伴走することを行ってきた。

活動を通して感じた、地域づくりの課題と効果

地域づくりの難しい点

- ・ビジネス化しにくい
- ・担い手（誰がやるか問題）
- ・持続性、継続性の担保
- ・参加障壁を下げること

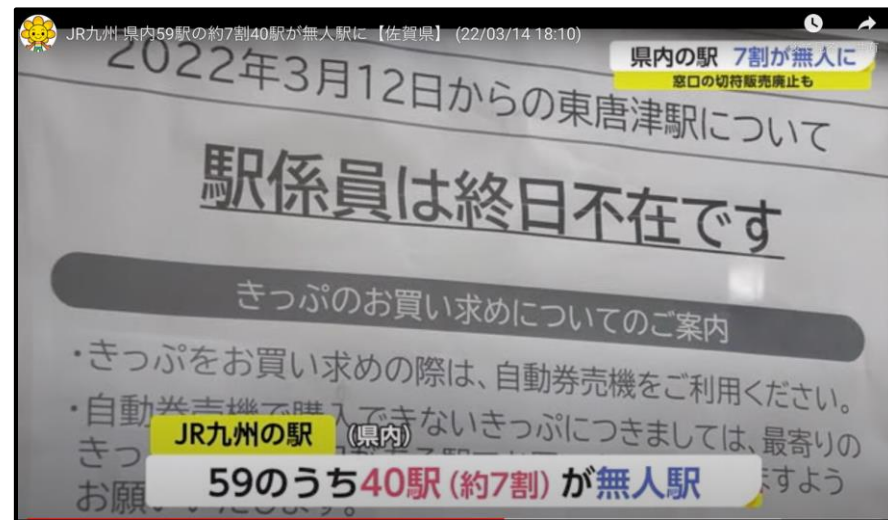
地域づくりの楽しい点

- ・地域を盛り上げる一助になる
- ・自分のまちを好きになる
- ・何かやりたいを形にできる
- ・地域住民間のつながりの創出

現在取り組んでいる活動

佐賀県・唐津市における無人駅問題

- ・ 佐賀県における7割が無人駅
- ・ 唐津市内は唐津駅を除き、全ての駅が無人駅



出典：佐賀テレビ

なぜ、無人駅に着目したのか

問題定義

私たちは、通勤・通学で**必ず駅を利用**します。
ただ、いつも電車の出発時刻ギリギリに到着し、
飛び乗るようになってはいないでしょうか。
(私がそうなのですが、、笑)

なぜ、無人駅に着目したのか

問題定義

私たちは、通勤・通学で**必ず駅を利用**します。
ただ、いつも電車の出発時刻ギリギリに到着し、
飛び乗るようになってはいないでしょうか。
(私がそうなのですが、、笑)

解決施策

私たちは、ちょっと早めに駅に行き、コーヒーでも
飲みながら本を読み電車を待つ、
そんなゆったり時間を提案し、その間に生まれる
会話や交流が地域内交流を促進させるのではないかと
考え、実践を行いました。

なぜ、無人駅に着目したのか

結論

駅は多くの人が行き交い、
交錯する場であるとともに、
地域のシンボルであり、
中心となる存在なのです。

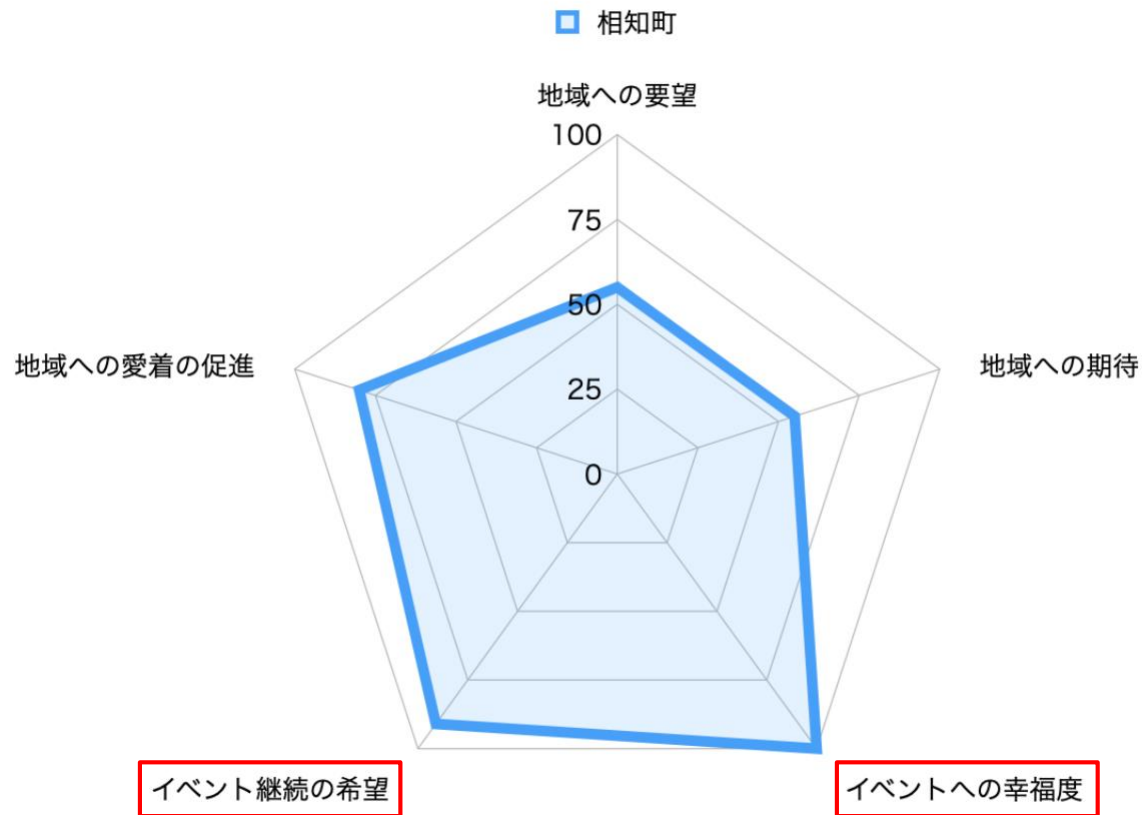
私たちが無人駅（相知駅）で実践したこと

ブックカフェ/縁日イベントの実施



10月19日に相知駅を拠点にブックカフェ・縁日を実施。雨天により、想定していたほどの住民の方々に利用していただくことは叶わなかったものの、地域への期待やイベントへの実施に対する声や希望を聞くことができた。

意見のなる木



住民の方からの声

質問：

相知駅はよく利用されるんですか？



答え：

ええ。よく利用するの。
私は唐津の市内から病院に行くのに、唐津線を利用して、少し遠いから、ちょうど相知あたりで一度降りて**この空間で少し休憩**してから、行くの。
だから、**ここがもっと活性化**されて、**人の温かみを感じ**られると嬉しいわ。

わかったこと

課題
→頻度

駅でイベントが**常時行われる状況**にしなければならない。
ただ、私たちは関東が拠点のため、**常開催することは難しい。**

わかったこと

課題
→頻度

駅でイベントが**常時行われる状況**にしなければならない。
ただ、私たちは関東が拠点のため、**常開催することは難しい。**

解決案
→仕組み化

代わりにイベントをやってくれる人が集まった時に、
駅を利用しやすくなるための「**駅のマニュアル**」を
作ればイベントが開催されやすい環境を創出できる

なぜ、わたしたちの提案

提案

無人駅の駅利用マニュアルを
蓄積した、
情報のプラットフォーム
「ミュージン」
の設計を行う

情報のプラットフォーム「ムージン」とは

無

ムー

move=動く
(常に人の流れがある)

人

ジン

人の温かさの大切さ
誰かいる**安心**

ミュージンの持つ4つの機能

1

手順の
見える化

2

情報の
プラットフォーム

3

マッチング
機能

4

使い方
講座

ミュージンの持つ機能

1

手順の
見える化

駅を利用するに当たって、誰に事前に伝えるべきなのか、誰に何の資料を申請するべきなのかがわかりにくいことにより、利用に障壁を感じられる人が多いことがわかった。

そのため、「誰に」「何の」「いつ」資料を共有するのかをわかりやすく一元化

ミュージンの持つ機能『手順の見える化』

相知駅利用時マニュアル

作成日時: 2024.11.5

作成者: NPO法人WeD
慶應義塾大学湘南藤沢充気プロジェクト

1.概要

今回、2024年10月19日に佐賀県唐津市相知町の相知駅を拠点として、ブックカフェ・雑日の開催を行った。このイベントの主たる目的は、佐賀県内で課題となっている無人駅の活用方法を模索することであった。その為、今後も相知駅を拠点に何かイベントや活動が自発的に行われるような状況になって欲しいという思いから、今回相知駅をイベントとして利用した中で感じたことなどをマニュアル化することによって、利用の障壁が下がるのではと考え、本マニュアルを作成した。

2.相知駅について

相知駅は、唐津市の中でも敷地面積の広い駅である。もとは、有人の駅であったということもあり、車掌さんが駐在する空間も兼ねられているとともに、椅子が何個とそれに負合う大きさのテーブルが備わっている。そして、駅外には「あじさい館」と呼ばれる空間が広がっており、あじさい館の駅舎に寄っている部分は駅の屋根がかかっている構造である。そのため、駅の中と外を区切っている意を全開にすれば、開放的な外と駅舎内の内を効果的に利用することができる。そして、ポスターが貼れるパネルが数個あることに加え、本装で暖かな本棚も備わっている。そして、公衆トイレも数設されており、その際には、駐車場・駐輪場もある。

以上のことから、何かイベントをやるには非常に適した環境であることが見える。

写真:



3.相知駅の資源

相知駅に完備されている備品を一覧化したい。

ハード面

- 椅子6脚
- テーブル4台
- 設置されている長椅子4つ
- パネル6枚ほど
- 本棚
- トイレ
- 駐車場、駐輪場

ソフト面

- 電源(弱い)
- 水道(問題なく利用できる)

4.相知駅を利用する時の手順

相知駅を利用する際の手順を記載しておく。

1. 相知市民センターへ「あじさい館」利用申請書を提出:1時間利用で210円(※1)
2. 申請書が承認されたのち、利用が可能
3. 当日までに市民センターにて電源コードを開放する鍵を借りる
4. イベント開催

注意:

しかし、イベントをやるためには、前もって住民の方々にイベントの情報を共有しておくことでより多くの方に来ていただくことができると思う。
そのため、可能であれば、地区長の皆さまや婦人会の皆さまにイベントの詳細を共有し、広めていただくことをおすすめする。
また、相知駅や相知図書館、市民センターなどでチラシやポスターを貼ることが可能であれば、それも効果的だと思う。

(※1)

ミュージンの持つ機能

2

情報の
プラットフォーム

唐津市内にある無人駅、14駅でイベントを実施し、

- ・「駅の利用者数」
- ・「水道の有無」
- ・「電気の有無」
- ・「駅舎の広さ」
- ・「トイレの有無」

などを利用時の注意点などをマニュアルとして記録し、
データベース化

ex.タグ検索

ミュージンの持つ機能『情報のプラットフォーム』

佐原元気プロジェクトでの実施例

#タグ検索について

#キーワード検索をしてい
ていただくと、
それに応じたイベントや
駅の情報に飛べるように

LATEST POSTS

コラム最新記事

COLUMN LATEST POSTS

コラム最新記事

COLUM



2024/11/09

サワラビルボード誕生秘話

#活動

ライター リリ アクセス数 229 Views

ムージンの持つ機能

3

マッチング
機能

事業者（キッチンカー運営者やイベント企画担当者）
と**駅**のマッチング。

利用の用途に応じて、どの駅で開催することが適しているのかを条件検索できるようにすることにより、
自分の利用規模、条件に合った駅を探すことができる

ミュージンの持つ機能

4

使い方
講座

必要に応じて、利用時の相談や不安、広報の面でサポート、コンサルタント事業を行うことで、駅でイベントを実施したからわかる体感を共有することができる

ミュージンのスケジュール（仮）

現在

準備フェーズ

WEBページ開設に向けた動き出し

- マニュアル作成
- イベント運営
- システム設計
- HP作成
- ロゴ作成

2025,4~

実装フェーズ

WEBページの公開と
資金調達の開始

- HP公開
- 集金開始

2026,4~

自走フェーズ

WEB ページをはじめとした
運用面の譲渡

- 運営変更
- 完全地域自走
- 他地域応用

ミュージンの収支計画（仮）

前提：収支に関しては運用方法により変更あり

収入

- スポット集金
 - 500円/駅
- サブスクリプション
 - 980円/月
 - 駅利用
 - マッチングサービス
 - イベント告知

ex. $500\text{円} \times 10\text{駅} \times 30\text{人} = 150,000\text{円}$
 $980\text{円} \times 20 \times 12\text{ヶ月} = 164,640\text{円}$

支出

- WEB作成費用
 - 要相談：内容とニーズ、運営主体からのニーズによって設定

*参考

(レンタル)サーバー代：月額1,500円程度
(独自)ドメイン代：年額3,000円程度
ホームページ・ロゴ制作費：10万円程度

- 交通費
 - $25,000\text{円}/\text{人} \times 2\text{人} = 50,000\text{円}$

ミュージンの目標

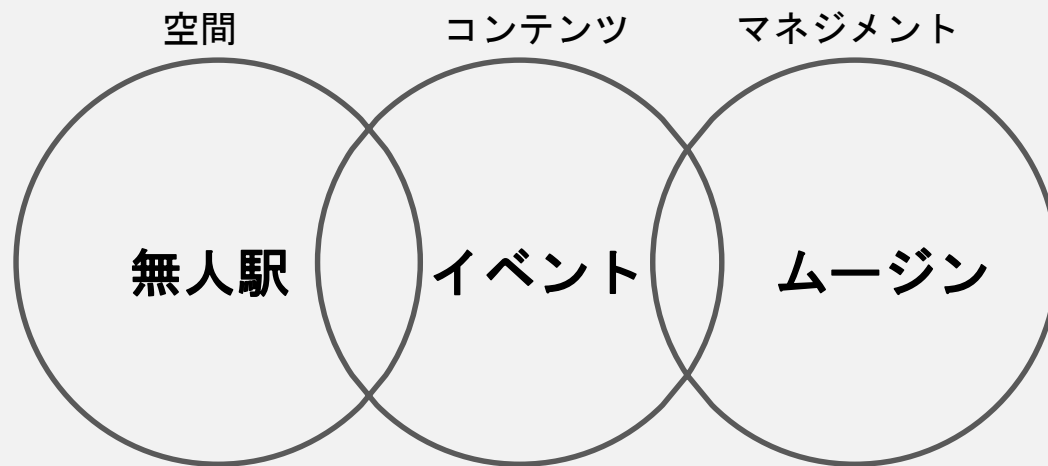
地域で自走できるシステム、
プラットフォームの設計を目指します。



横の繋がり：他の無人駅でも展開

縦の繋がり：駅利用者向けアプリ開発（仮）

ミュージンの目標



無人駅×唐津元気PJ＝地域活性化

今後の方向性

飯盛義徳研究会の中に「ILBC」というWebの運営、サイトの管理を主軸に活動しているプロジェクトがあるため、このプロジェクトと連携をとりながら、運用に向けて効果的に進めていきたいと考えています。



慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス
飯盛義徳研究室
Keio University SFC / YOSHINORI ISAGAI Lab.



ISAGAI LAB.
BRAND COMMUNICATION
PROJECT

最後に

無人駅

付加価値
仕組み化

交流の場

地域の中心にあり、我々の中で身近にある「駅」という存在が、もっと活用されることによって、無人駅がより活性化され、「駅」が「駅としての利用価値」を超える新たな取り組みが行われる状況を生み出していきたいと思います。

最後に

ご清聴、ありがとうございました。